

令和8年度大館市ベンチャーラボ地域おこし協力隊（プレーヤー） 選定評価基準

1. 趣旨

この基準は、大館市ベンチャーラボ地域おこし協力隊（プレーヤー）選定審査委員会（以下「委員会」という。）において委員が評価するために必要な事項を定めるものである。

2. 評価方法

(1) 一次審査（書類審査）

参加者が15者以下の場合、一次審査は省略し、参加資格の審査のみを行う。

参加者が16者以上の場合、委員長において各評価項目における評価基準に基づき書類審査を行い、上位15者を二次審査実施対象者として選考する。

なお、一次審査の点数は二次審査には引き継がないものとする。

(2) 二次審査（プレゼンテーション）

プレゼンテーションと、審査委員によるヒアリングを実施し、評価基準に基づき審査する。

(3) 優秀提案者の選定方法

二次審査における全ての審査委員の得点の合計点が高い上位7名を優秀提案者とする。

また、プレゼンテーション及びヒアリングの合計評価点が同一の場合は、総合的に勘案し、委員会において必要に応じてその優劣を協議の上決定する。

ただし、合計点が、満点（500点）の6割（300点）に満たない場合は、優秀提案者とししない。

3. 評価項目及び評価基準

合計 100点

評価項目	評価基準		配点
事業有望性	市場規模	ターゲットが明確か。需要が見込めるか。	10
	収益性	協力隊任期終了後も自立して運営できる収支計画か。	10
	競争優位性・革新性	既存のサービスと差別化できているか。独自のアイデアがあるか。	10
地域適合性	地域資源の活用	土地の特産品、歴史、自然、遊休資産などを有効に活用しているか。	10
	波及効果	雇用創出や交流人口増など、地域全体へのプラスの影響があるか。	10
	既存産業との関係性	地元の既存業者と対立せず、連携や補完ができる関係を築けるか。	10
応募者の素質	スキル・経験・意欲	提案事業を遂行するための経験や専門知識を有しているか、あるいは、それらを習得し遂行するに足る高い意欲・向上心を有しているか。	10
	ネットワーク	外部の専門家や販路など、事業を加速させる独自のつながりがあるか。	10
	定住可能性	地域への理解があり、委託契約終了後もその土地で暮らす意思が感じられるか。	10
全体の印象	全体の印象や人間性、提案書とプレゼンテーションの整合性、実現可能性など、全般を評価する。		10